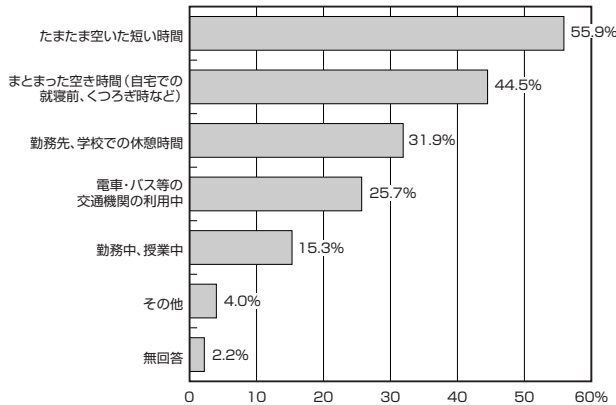
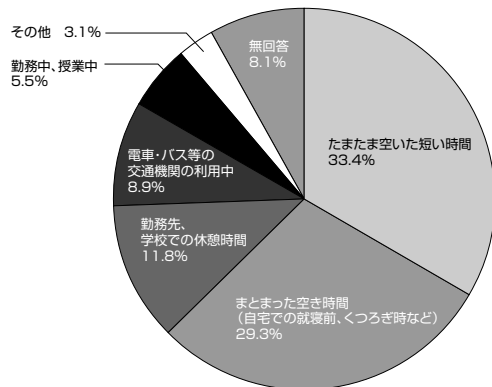


資料 1-2-10 携帯電話/PHSでインターネットを利用する場面 N=1,100



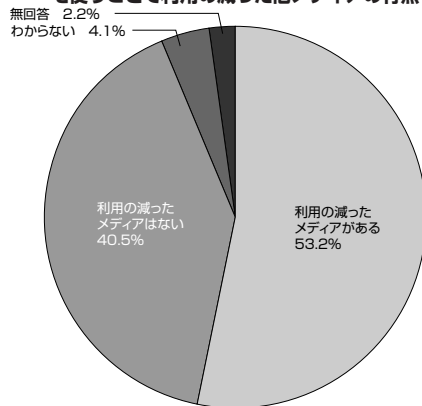
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-2-11 携帯電話/PHSでインターネットを利用する場面 (最も多い場面) N=1,100



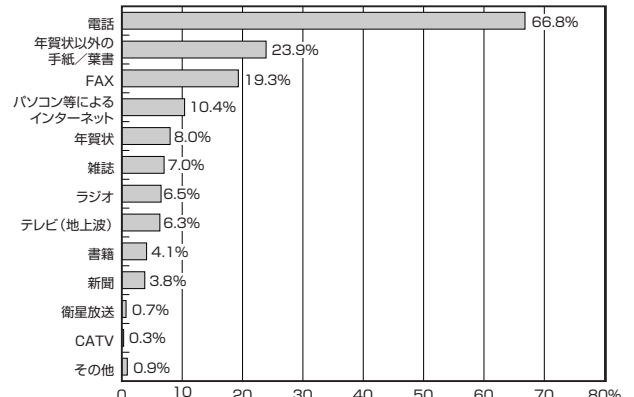
インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-2-12 携帯電話/PHSでインターネット(メール・情報サービス)を使うことで利用の減った他メディアの有無 N=1,100



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-2-13 携帯電話/PHSでインターネットを使うことで利用の減ったメディア N=585



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

「まとまった空き時間(自宅での就寝前、くつろぎ時など)」より「たまたま空いた短い時間」に使われることが多く、携帯電話/PHSの特性に合った利用場面の比率が高い。複数回答でみると、1人当たりの利用場面は1.80に上る。これを性別にみると、男性に比べて女性のほうが利用場面は多く1.92、男性は1.72となっている。年代別では20代、10代でそれぞれ2.01、2.00と高く、若年層では働き盛りの中高年に比べて利用場面が広範に渡っているのが特徴といえる。

資料 1-2-12と資料 1-2-13は携帯電話

/PHSでインターネットを使うことにより、利用の減った他メディアの有無とそのメディアを聞いたものである。

「利用の減ったメディアがある」比率は53.2%と、第3章でみるパソコンインターネット利用者(56.4%)と同傾向である。女性でその比率が高い点も同様であるが、パソコンインターネット利用者とは異なるのは、年代別でみたとき若年層ほど利用メディアが減少したと回答している点である。減少したメディアは「電話」(固定電話、携帯電話/PHSの通話としての電話)が圧倒的に高いが、以下は「年賀状

以外の手紙/葉書」「FAX」「パソコンによるインターネット利用」「年賀状」「雑誌」の順になっている。特に20代、10代の若年層で全体に減少したメディアの数が多く挙げられており、女性の複数回答率も高い。携帯電話/PHSのインターネット利用は特に若年層と女性にメディア選択の影響を与えていることがわかる。

(矢野さよみ アクセスマディアインターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp